

2022年3月期決算概要

2023年3月期通期業績予想・配当予想

2022年4月28日

伯東株式会社

(単位:百万円)	21/3期 累計	22/3期 累計	増減(△印減)	
			差異	比率
売上高	165,413	191,495	26,082	15.8%
売上総利益	18,661	23,968	5,306	28.4%
営業利益	3,806	7,304	3,498	91.9%
経常利益	3,603	7,411	3,807	105.7%
当期純利益	3,064	4,970	1,905	62.2%
(包括利益)	4,897	7,337	2,439	49.8%
1株当たり純利益	148.91円	248.48円	99.57円	—

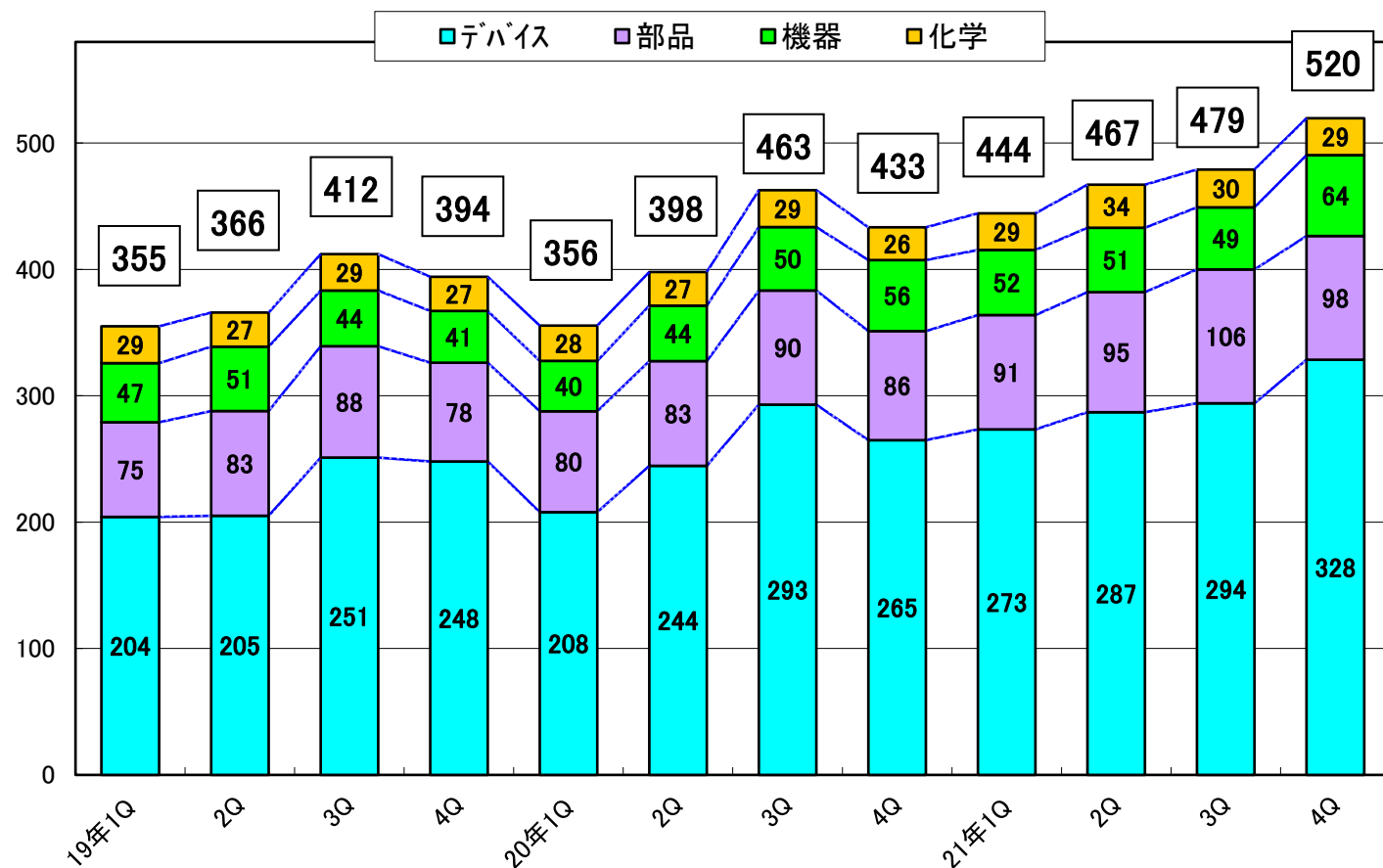
《当期業績の概要》

◇売上高: 主要3セグメント全て増収。特に、電子部品は供給に制約を受けながらも大幅に伸長

◇売上総利益: 為替影響等により利益率が改善
前期 11.3% ⇒ 当期 12.5%

◇営業利益以下: 売上増加と利益率改善により、販管費の増加(対前年同期比+12.2%)を吸収し、過去最高益を更新

(単位:億円)



《分野別売上高の概要》

◇化学: 工程添加剤は需要回復、化粧品基剤も好調

◇機器: 半導体設備投資需要によりPCB関連、真空機器が伸長

◇部品: 車載用LCDパネル伸長もPC関連は鈍化

◇デバイス: 自動車生産回復により車載用途ICが増加、民生・産業機器関連向けも伸長

(単位:百万円)		21/3期	22/3期	増減
電子部品	売上高	134,949	157,119	22,170
	セグメント利益	919	3,682	2,763
電子・電気機器	売上高	19,029	21,609	2,580
	セグメント利益	1,770	2,104	334
工業薬品	売上高	10,962	12,300	1,338
	セグメント利益	890	1,337	447
その他	売上高	1,194	1,167	△ 27
	セグメント利益	221	213	△ 8
合計	売上高	166,135	192,196	26,061
	セグメント利益	3,803	7,338	3,535

《セグメント情報の概要》

◇電子部品:半導体需要増加に伴う販売増と為替影響等により増収・大幅増益

◇電子・電気機器:半導体設備投資需要による販売増と自社ブランド商品の伸長により増収・増益

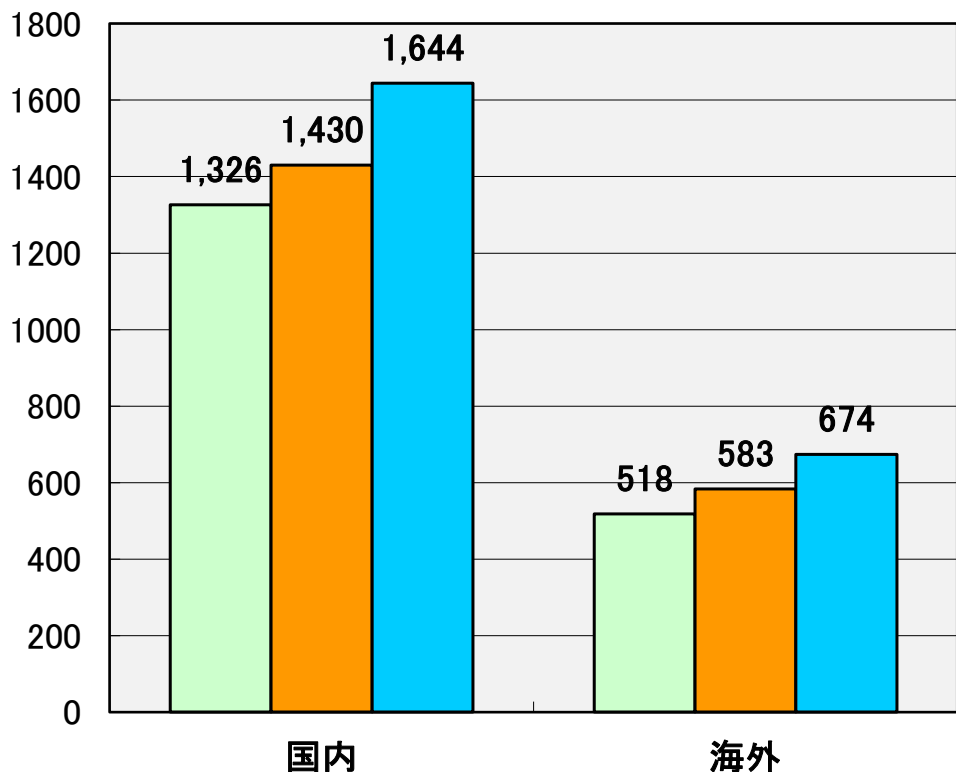
◇工業薬品:工程添加剤の需要回復と高収益化粧品基剤の伸長により増収・増益

※1. 売上高はセグメント間内部取引消去前(同一セグメント内取引は相殺済)の金額

※2. 22/3期より従来「電子部品」に区分していた太陽光発電事業を「その他」に区分変更

21/3期も変更後のセグメント区分で記載

(単位:億円) 売上高(単純合算)



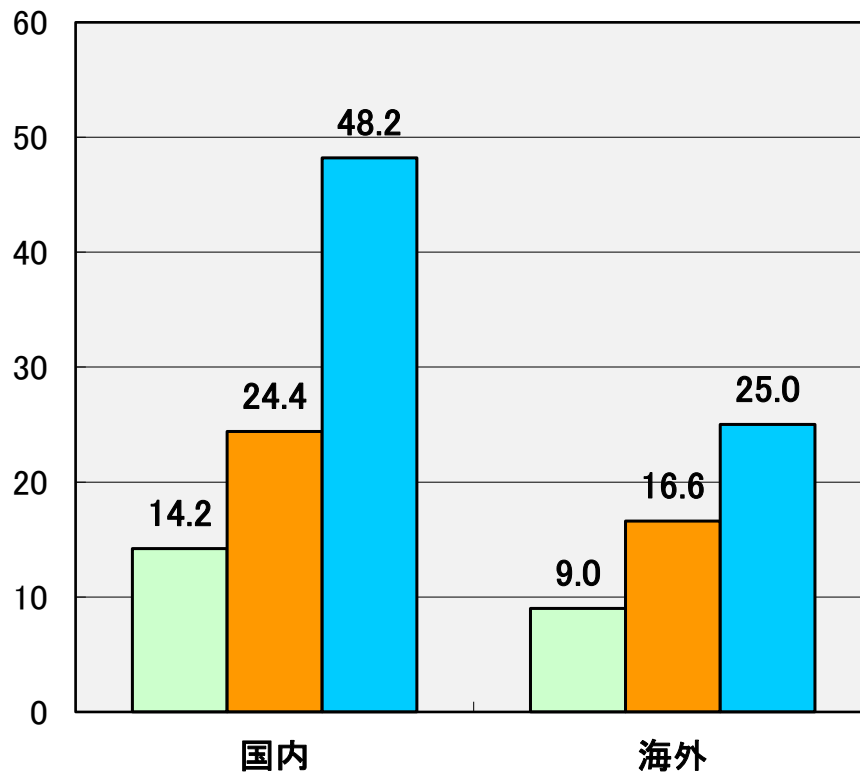
国内(伯東+連結子会社3社)

伯東、モルテック、HAL、HLS(2021年4月に吸収合併)

海外(連結子会社9社):

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

(単位:億円) 営業利益



□ 20/3期4Q実績

■ 21/3期4Q実績

■ 22/3期4Q実績

(単位:百万円)	21/3期	22/3期	増減 (△印減)
総資産	116,422	131,490	15,068
内:現預金	17,867	18,620	753
内:売上債権	43,978	50,099	6,121
内:たな卸資産	32,179	41,263	9,084
内:投資有価証券	8,409	9,632	1,223
総負債	58,403	69,821	11,418
内:仕入債務	19,079	24,515	5,436
内:有利子負債	29,360	33,135	3,775
純資産	58,018	61,668	3,650
自己資本比率	49.8%	46.9%	—

《主な増減理由》

- ◇現預金:連結CF参照
- ◇売上債権:売上増に伴う増加
- ◇たな卸資産:半導体供給不足の一方で、BCP在庫増により増加
- ◇投資有価証券:保有株式の株価上昇
- ◇有利子負債:短期借入+37億円、長期借入△1.4億円
- ◇純資産:当期純利益+50億円、有価証券評価差額+8.4億円、為替換算調整勘定+16億円、配当△19億円、自己株式取得△18億円

(単位:百万円)	21/3期	22/3期	増減 (△印減)
営業キャッシュ・フロー	7,418	872	△ 6,546
投資キャッシュ・フロー	601	△ 527	△ 1,128
財務キャッシュ・フロー	△ 5,280	△ 379	4,901
換算差額	390	787	397
現金・現金同等物の増減額	3,130	753	△ 2,377

現金・現金同等物の 四半期末残高	17,867	18,620	753
---------------------	--------	--------	-----

《今期の主な内訳》

◇営業CF: 税前利益+73億円、減価償却費+8.3億円、仕入債務増加+42億円、棚卸資産増加△85億円、売上債権増加△48億円

◇投資CF: 有形固定資産取得△4.2億円

◇財務CF: 借入による収入(純)+36億円、配当金支払△19億円、自己株式取得(純)△18億円

(単位:百万円)	22/3期 通期	23/3期			増減	
		上期	下期	通期		
売上高	191,495	98,000	99,000	197,000	5,505	2.9%
売上総利益	23,968	12,700	12,800	25,500	1,532	6.6%
営業利益	7,304	3,500	3,500	7,000	△304	△4.2%
経常利益	7,411	3,500	3,400	6,900	△511	△6.9%
当期純利益	4,970	2,550	2,450	5,000	30	0.6%
EPS	248.48			254.82	6.34円	—
ROE	8.3%			8.1%	△0.2%	—

23/3期については、感染症、ウクライナ情勢、為替動向等の懸念材料はあるものの、自動車及びエレクトロニクス業界においては、22/3期と同様の状況が継続するものと見られることから、ほぼ前年並みの業績を予想

■ 配当金の状況

基準日	1株当たり配当金			配当金 総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第2 四半期末	期末	年間			
21年3月期	円 銭 25 00	円 銭 35 00	円 銭 60 00	百万円 1,235	% 40.3	% 2.2
22年3月期	円 銭 60 00	円 銭 100 00	円 銭 160 00	百万円 3,182	% 64.4	% 5.4
23年3月期(予想)	円 銭 80 00	円 銭 80 00	円 銭 160 00	百万円 -	% 62.8	% -

※2021年3期期末配当の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 10円00銭

■ 自己株式の取得について

- (1) 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 : 80万株(上限)
発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合4.05%
- (3) 株式の取得価額の総額 : 18億円(上限)
- (4) 取得期間 : 2022年5月1日～2023年4月30日
- (5) 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付

■ 自己株式の消却について

- (1) 消却する株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 消却する株式の数 : 100万株
- (3) 消却予定日 : 2022年5月16日

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

< IRに関するお問合せ先 >

経営企画部 tel.03-3225-8931